

ニューズレター 経済教育学会

2022. Feb. No.36

会長挨拶・・・1 学会賞選考結果・・・2 春季研究集会案内・・・3 全国大会報告・学会案内・・・4 理事会議事録・・・5～8 学会案内・・・8

会長に大坂洋理事が選出されました。ご挨拶を掲載します。

会長就任のご挨拶

経済教育学会会長 大坂洋(富山大学)

任期が1年延長し、2022年の大会までの会長となりました大坂です。

コロナ禍は、もうすぐ3年目を迎えようとしています。感染の影響の度合いは地域によって大きく違いますが、長くリモートでの教育を強いられている会員の皆様のご苦労は大変なものだと思います。この困難な状況で受験を強いられたり、孤立しがちな状況に追い込まれている生徒・学生たちを助け、勇気づけることは本当に大変なことです。学会の活動も、大会、研究集会、理事会もリモートでの開催が増えておりますが、困難な状況で教育に取り組む会員各位の助力になることを願っております。

また、コロナ禍での経験は、日本の社会のあり方を考え直すきっかけになっています。生徒・学生の多くが、今の経済教育にそうした日本社会の捉え直しを深めることを期待していると感じます。この期待に個々の教員が応えることに助力することも本学会の重要な責務であります。

ところで、経済教育学会はすでに30年以上の歴史を持ちます。学会設立時には多くの先輩方のご尽力がありました。にもかかわらず、学会賞には功労賞が設けられているのに、これらの功労者の皆さんに授与できていないことは、重大な問題です。学会創設にご尽力された森岡孝二先生に生前に功労賞を授与できなかったことは、きわめて残念なことでした。学会創設にご尽力された諸先輩方に功労賞を授与できる流れを作ることを私の任期中にぜひ実現したいと思っております。

半年前の挨拶でもふれた韓国経済教育学会との連携もさらに深めていく所存です。



2021年 経済教育学会 学会賞選考結果



経済教育学賞を2019年4月1日から2021年3月31日までの業績に関して募集したところ、研究部門、教育実践部門、奨励賞に各2件の応募があった。特別賞、功労賞には応募がなかった。学会賞選考委員会にて慎重に審査した結果、教育実践部門において大阪教育大学経済教育研究会(代表 裴光雄)の『経済教育実践論序説』(2020年、大学教育出版)の受賞を決定した。その他の部門に関しては受賞なしとした。教育実践部門の受賞理由は、大阪教育大学経済教育研究会は小学校、中学校、高等学校、大学の教員が所属して約10年間にわたって継続的な研究会活動と教育実践を行っており、その成果を小学校から大学までの経済教育実践論として系統的に1冊の本にまとめたことは経済教育の学問的発展と教育実践の普及に大いに貢献し、経済教育学会賞(教育実践部門)の受賞に値するものとして評価した。他の部門に関しては、研究の途上であり今後の発展が期待されるもの、経済教育との関連が明確でなく経済教育の観点からの再考が必要なものであり、さらに研究や教育実践を深めて再応募されることを願っている。

教育実践部門

大阪教育大学経済教育研究会(代表 裴光雄)

『経済教育実践論序説』(2020年、大学教育出版)

この度は、大変忙しいところ、学会賞選考委員会委員長の水野英雄先生を始め、委員の皆様には私たちの本を審査して学会賞(教育実践部門)を授与して下さい、篤くお礼申し上げます。次に、今般出版事情が厳しいにもかかわらず、私たちの研究を書籍として出版して下さい、大学教育出版の佐藤社長にも感謝申し上げます。また、高山先生、岩田先生を始め、本書に原稿を書いて下さった研究会メンバーの諸先生方にお礼申し上げます。本書は大教大関連の先生方で書いた一つの経済教育に関する序説だと思います。今、大学院の授業でこの本を現役の先生方と輪読していますが、序論でもあり、試論でもあるのかなあと改めて感想を持ちました。今後は自分たちの研究した授業実践案が、何らかのエビデンスに基づいた客観性の付与された研究として、昇華されていかなければならないと、次の課題をそう認識しています。この賞の受賞を励みに今後ともメンバーの先生方と共に、経済教育の研究に勤しんで参りたいと思います。有難うございました。

2022年春季研究集会ご案内と報告者の募集

実行委員長 阿部 信太郎
(城西国際大学)

経済教育学会 2022年春季研究集会を下記のように開催いたします。会員各位のご参加、研究報告のお申込みをお待ちしております。皆様の研究の発展と交流の機会となりますよう、ご参集の程よろしく願いたします。なお対面での会を予定していますが、状況によっては急きょオンラインに切り替える場合もあります。その際は、学会サイト等でお知らせします。また、現在の状況を鑑み、今回は懇親会の開催は予定していません。ご了解の程、よろしく願いたします。

日時: 2022年3月5日(土) 13:00~17:10 予定(受付 12:40 より)

会場: 城西国際大学紀尾井町キャンパス 1号棟 (会場の教室は学会ウェブサイトでご案内します)

地下鉄有楽町線麴町駅(5分)、半蔵門線半蔵門駅(8分)、地下鉄各線永田町駅(10分)

* 対面での会を予定していますが、状況によっては急きょオンラインに切り替える場合があります。その際は、学会サイト等でお知らせします。開催日が近づきましたら、学会サイトの確認をお願いいたします。

アクセス: <https://www.josai.jp/access/>

本学紀尾井町キャンパスは1号棟から5号棟まであります。会場は、麴町駅最寄り、文芸春秋本社隣、プリンス通りの1号棟です。お間違いないよう地図でご確認ください。

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

《プログラム予定》(*発表申込件数などの関係で時間は前後する可能性があります)

理事会 12:00~13:00

研究集会

12:40 開場(12:40) 受付開始

13:00~15:00 自由論題

15:00~15:15 コーヒーブレイク

15:15~17:10 自由論題 及び理事会からのお知らせ・自由討論など

懇親会 現在の状況に鑑み予定していません。

《研究発表申込み》 締切:2022年2月15日(火曜日)必着

申込方法:学会ウェブサイトからのオンライン申込をお願いします。必要事項はオンライン上に表示されます。 <https://forms.gle/p8t6ua9GroyiPtBr6>

①報告者名 ②ご所属・職務 ③連絡先電話番号 ④メールアドレス ⑤発表テーマ ⑥発表のキーワードを3つ程度 ⑦発表要旨(400字程度)。共同発表の際は、代表者の方を最初にご記入ください。発表者は会員に限ります。申込者が多い場合には、発表テーマにより実行委員会で選定します。

《研究集会加申込み》 締切:2022年2月28日(月曜日)。ウェブサイトからのオンラインでお申込みください。 <https://forms.gle/p8t6ua9GroyiPtBr6>

《連絡先》 阿部信太郎 abes@jiu.ac.jp

第 37 回全国大会報告 事務局長 久井田直之

2021 年度の全国大会は、前年度開催校に決まっていた日本大学経済学部で開催予定でしたが、コロナウイルス感染状況を鑑みて、Zoom によるオンライン開催に変更されて 10 月 30 日と 31 日に行われた。初日のシンポジウムでは橋本勝会員のファンリテーションのもとで、大学のゼミなどの現状について小森谷徳純氏(中央大学経済学部)、高校での経済教育の現状について梅枝駿会員(セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校)、学生アンケートに基づく大学生の授業に対する考え方について益田耕佑氏(富山大学都市デザイン学部・学生)が発表を行い、3 人の視点の異なるアプローチでコロナ(下/禍)での教育方法や環境の変化について活発な議論が行われた。そしてシンポジウム後は総会と Zoom 上での懇親会を行われ、貴重な研究の意見交換の場になったとの声を参加者からいただくことができた。翌日の分科会では 10 時から 16 時 40 分まで、休憩を挟みながら、21 本の発表があった。コロナ下での会員のみなさまの積極的な発表のエントリーに、心からこの場を借りて感謝申し上げたい。今回の全国大会では google フォームを用いての大会アンケートも行い、会員の皆様の声を直に運営側が聞くことができた。大会の内容へのポジティブなコメントを多数いただいたこと、そして経済教育学会への思いを伝えてくださった会員の方々に事務局は本当に励まされた。今後もさらなる学会の発展のため、みなさまからのご理解ならびにご協力を賜りたい。2022 年の全国大会は明治大学での開催が決まり、委員長の水野勝之会員が昨年末から精力的に準備を進めており、第 38 回全国大会の開催を待ち遠しく思う。

2022 年度 第 38 回全国大会について

経済教育学会第38回全国大会を2022年10月1日(土)、2日(日)に東京の明治大学駿河台校舎で行います。詳細が決まり次第、HP とメルマガで情報を随時お知らせしますので、HP のチェックとメルマガへの登録をよろしく願いいたします。

学会誌定期購読先の新規募集

学会誌の定期購読先を新規募集しております。会員の皆様の勤務校で、本学会学会誌「経済教育」を図書館などで定期購読していただける場合、ぜひ事務局にご連絡いただけますと幸いです。よろしく願い申し上げます。jimukyoku@ecoedu.jp

メルマガの登録のお願い

現在、メルマガの登録状況の確認を進めております。学会入会時にメールアドレスを HP でご入力いただいておりますが、入会と同時に学会のメルマガに登録されるシステムになっております。現在、この状況の改善に向けて取り組んでおります。メルマガが 1 月中旬に配信されましたが、メールアドレスに届いていられなかった方は、学会運営と情報共有の円滑化のため、メールアドレスの登録をお願いしております。左の QR コードより、携帯メールから登録可能です。お手数をおかけしますが何卒よろしくお願い申し上げます。



<会員の異動>新入会員 2021 年度新規入会会員 (ニューズレター第 35 号以降)

正会員 安岡匡也(関西学院大学) 澁谷朋樹(公益財団法人政治経済研究所) 河野久(宮崎大学国際連携センター) 矢島明彦(豊橋創造大学短期大学部) 阿部圭司(高崎経済大学) 吉村太介(鹿児島県 講師) 佐藤裕一郎(株式会社東京アカデミー)

学生会員 川添悠河(明治大学) 関口雅人(明治大学) 後出佑弥(明治大学) 林田彩花(明治大学) 水谷梓沙(明治大学) 越智美智子(亜細亜大学大学院) 山田圭祐(上越教育大学)

特別会員 河合芳樹(明治大学)

2021年9月4日(土)14:00-16:00 経済教育学会理事会議事録

出席者:(アイウエオ順)阿部信太郎, 岩田年浩, 大坂洋, 久井田直之, 齋藤哲哉, 関本祐希, 徳丸夏歌, 土居拓務, 中里弘穂, 新里泰孝, 橋本勝, 裴光雄, 松尾匡, 松野至, 水野勝之, 水野英雄, 宮下春樹, 八木紀一郎, 八木尚志 19名 委任状 8名

議長:大坂会長 書記:徳丸会員

報告事項

1. KEEA(韓国経済教育学会)大会について

裴会員より、2021年8月19日にオンラインで実施された、KEEA(韓国経済教育学会)大会について報告があった。大会には、大坂会長よりビデオメッセージが送られた。大会報告集(2本が英文)は、オンラインでダウンロード可能である。今後、日中間の共同シンポジウムを開催予定であり、経済教育学会からも会員が参加予定である。

議事

1. 理事会選挙結果について

理事会選挙結果について、選挙管理委員会委員長の水野勝之会員および委員の宮下会員より、選挙結果の報告があり、新理事 20名が承認された。新理事会は、全国大会 2日目より発足予定である。

2. 学会賞選考結果について

学会賞の選考について、選考委員の水野英雄会員より報告があった。特別賞、功労賞は応募がなく、研究部門、教育実践部門、奨励賞に各2件応募があった。選考の結果、大阪教育大学経済教育研究会(代表裴光雄)の『経済教育実践論序説』(2020、大学教育出版)の教育実践部門での受賞が提案され、承認された。

3. CORE 本部との協定について

八木紀一郎会員より、現在非公開で作成されている CORE 資料(ガイドブック等)の公開のために必要な英国 CORE 本部との契約について、経済教育学会の研究部会(JAFEE- Study Team for Open Resource Education)として合意締結することについて提案があった。大坂会長より、経済教育学会の内部部会としても、併せて承認すべきとの提案があった。八木尚志会員より、部会の代表者やサインする人などを明確にすべきとの提案があった。代表者と部会名称については、部会内部にて後日決定、報告することとし、研究部会の設立、および部会が CORE 本部との契約主体となることが承認された。

4. 全国大会オンライン開催について

(対面予定であった)日本大学での全国大会について、昨今の感染拡大状況に鑑み、オンラインで開催することが大坂会長より提案された。オンライン開催にあたっての zoom 費用について、八木尚志会員より質問があり、久井田会員より、大会実行委員の久井田会員と齋藤会員の日本大学の zoom 2 回線が、追加費用無しで利用可能であることが報告された。

5. 分科会報告について

久井田会員より、分科会報告に 21 件の応募があり、全て報告可と判断したこと、暫定的な振り分け案が提案され、振り分け調整が議論された。午前の部、午後の部について、それぞれ2分科会に分け、各分科会を2人の司会が担当することが提案され、承認された。理事会で承認された分担は、午前①金融教育(司会:松尾会員、宮下会員)、午前②教育実践(司会:橋本会員、水野英雄会員)、午後①キャリア教育(司会:中里会員、新里会員)、午後②公共性・経済倫理(司会:土居会員、高橋会員(依頼予定))であり、実行委員会にて追加的な再調整が行われ、最終的な分科会案を理事会 ML で承認することが確認された。

6. 全国大会シンポジウムについて

齋藤会員より、全国大会のシンポジウムの準備状況について報告があった。現在、コロナ下における武漢の状況について、海外の研究者への発表依頼を検討しているが、通訳を利用すれば費用がかかるという問題がある。また、日本大学の教務課長とスタッフ一名に、コロナ下における大学教育の取り組みについての発表、登壇を依頼し、快諾を得ている。

2021年度 経済教育学会 旧理事会

日時:2021.10.30(土) 11:00~12:30(ZOOM 開催)

出席者:17名 阿部信太郎, 飯嶋香織, 井草剛, 宇佐見義尚, 大坂洋, 久井田直之, 高橋勝也, 高橋桂子, 高山新, 徳丸夏歌, 土居拓務, 中里弘穂, 橋本勝, 裴光雄, 水野勝之, 水野英雄, 宮下春樹 (委任状 5通)

議長:大坂会長、書記:高橋桂子

内容:全国大会第1日目 理事会、2021年度経済教育学会 総会 全国大会第1日目 理事会

【報告事項】

1. 本日から開催される全国大会に関して

- ・シンポジウムの確認:(橋本理事) 富山大学で実施した様式を改良している。16:15から始まる。
- ・分科会座長の確認、ベルのタイミング、学会誌原稿依頼方法の確認
- ・ブレイクアウトルームを作成してルーム 1(分科会 A)、ルーム 2(分科会 B)と出る。ルーム 1、ルーム 2の移動も参加者本人が出来る。最新型 ZOOM ではルームもメインルーム(久井田理事)の情報を共有できる。座長は、ミュートを外されている方がいるか、確認した場合注意してほしい。遅刻者などはメインルームでルームへ誘導する。画面共有も「複数の参加者 ok」とメインルームで画面許可をしているので問題ない。座長の方で特段、操作することはない。座長にはこのことを記した資料をお渡しする。
- ・持ち時間は1人30分。20分報告+10分質疑(フロア)。ベルは用意していないので座長で適宜、案内してほしい。たとえばチャットを使っ

て「5分前です」と報告者にアナウンスする。

・インターバルの時間を設定していない。スタート時間は厳守してほしい。

・学会誌の原稿の執筆依頼は、従来は座長に依頼されていた。オンライン開催の場合は、すべて発表者のメールアドレスが判明しているので事務局から一括でメール依頼する。

2 その他

・韓国経済教育学会 夏季学術大会 KEA での報告(裴理事)

韓国経済教育学会 KEEA は、韓国最大のシンクタンク韓国開発院と共同で東アジアの経済開発に関するシンポジウムを開催した。9本の論文発表(日本、中国、韓国)あり。日本から大坂先生、水野先生、栗原久先生の3人が登壇した。大坂先生のコメントータとして新里先生を推薦したが、日本人同士の組み合わせはNOと判断されたのかも知れない。大坂先生のコメントは韓国の先生が担当した。裴先生も韓国の先生のコメントータとして参加された。日中韓でどのような取り組みがあるか、多いに勉強になった。ただ、会員の方に ZOOM 視聴していただけなかったことは残念だ。この ZOOM での国際会議は3ヶ国に同時通訳が対応しており、便利な時代になった。デジタル、国際学会の手法という点でも学ぶことが多いにあった。

・スライドは英語で用意して日本語でプレゼンした。同時通訳というアイコンがあり、そこから日本語、中国語、韓国語を選択できる。proceedings の翻訳は機械ではなく人間だった。本学会では予算的に厳しいのではないかな。

・PDF の資料を送信してもらっているので、開封でき次第、学会 HP でアップできるようにしたい。

・KEEA との連携した学会が継続することを希望する。

・ニューズレターの発刊は、例年、全国大会終了後2ヶ月。春期大会の内容が確定してからご案内と一緒に郵送している。今回は年明け発刊になるだろう。一方で、学会誌40号は、いち早くお届けしたこともあり年内郵送予定。これまで、ニューズレターと学会誌を同時に梱包して郵送していたが、今回は2回に分けて郵送することになる。

1 総会での審議事項について(意見等が出たもののみを記載する)

2021年度経済教育学会 総会

【審議事項】

1.3 2020年度会計監査報告:

・資料には押印がないが必要ではないか、との質問にPDFにして当日共有できるようにするとの回答あり。

・監査の浅野先生からは「当日何か質問があれば塩田先生が回答する」と連絡がはいっている。どちらかには参加いただくよう、連絡しておく。

→審議の結果、了承された。

【報告事項】

2.2 学会賞審査結果報告:(担当:水野先生)。

受賞者情報は改ページ機能を用いて、議事進行に合わせて表示して、サプライズを演出することとなった。

【その他】

・学会誌40号の報告:総会の中で報告事項に追記する。現在は、念校の段階、12月中旬発刊を目処に進めている。

2 2022年3月の春期研究集会について

2022年1月に理事会を開催して開催方法を決定する。

対面の場合

日時:未定、場所:城西国際大学、実行委員長:阿部信太郎理事

オンライン開催の場合

城西国際大学はオンラインツールとして ZOOM ではなく Cisco Webex を使用している。そこでオンライン開催の場合は理事会主導で準備を進める。かつて高橋勝也前会長の時に online で開催した。ノウハウは蓄積されている。

3 2022年度の全国大会について

日時は未定も開催校は明治大学、実行委員長は水野勝之理事(2回目)で開催に向けて準備を進めることが発表された。

4 オンライン業務の分担について

学会 HP を通じてのスパムメールが増えていると、HP 委託先「サラト」から対策の要望があった。原因は、HP に載っている電話番号、メールアドレスなどがスパムに使われているようだ。そこで、メールアドレスの@を*など記号に変えてはどうか、アドレス表記の変更とサラトからアドバイスがあった。スパム対策として、アドレスを掲載せずに「問い合わせ」方法に変更するのも一案だ、旧 HP ページは閉鎖してはどうかという意見があった。メルマガ&HP 業務担当は河合理事から土居理事へ変更となる。

ZOOM の分担:2022年3月の春期開催のために担当が必要かどうかは今後の検討事項。年会費用がそれほど高くないかもしれない。担当者は固有のアドレスが必要になる。その方向で検討するために審議事項として申し送りをする提案があり、了承された。

5 大会2日目の新理事会にむけての申し送り事項について

・会長の互選については、明日の理事会で互選できる。

・理事人数の件:旧理事は32名、新理事は選挙で当選した20名になる。補充理事を依頼するかどうかは、新理事会で決めてもらう。明日の理事会で報告する。例年、引継ぎをしていない。申し送り事項として議事録にして、明日の新理事会へ引き継ぐ。

・国際交流:阿部信太郎理事と裴光雄理事が担当。新理事でもあり継続となる。

・編集委員会:久井田理事が引き続き委員長。現在、事務局長と兼任のため再来年にはどなたかをお願いしたいとの意向があった。越田・中島・八木先生の3人が新理事から外れるが、補充理事として編集委

員を引き継いでいただく予定。

・学会賞選考委員会:水野英雄委員長から委員 7 名うち理事 3 名、この規定を守りながら選出いただくように依頼があった。

・Working Paper:飯嶋理事と井草理事が継続、竹田理事が抜けられる。1 名補充するかどうかは飯嶋・井草理事で相談していただく。

・学会賞に関して:森岡孝二先生のように本学会の創設に貢献くださった先生を推薦した実績がない。理事会が関わって推薦できる形に変更したい。学会の創設に関与してくださった先生が奨励賞の受賞ができない。理事会から推薦できるように規約を改正したい。この件も、次の学会賞までに。申し送り事項に入れていただきたいという提案があり、了承された。

2021 年度 経済教育学会 総会議事録

日時 2021 年 10 月 30 日(土) 16:15-17:00(45 分)

場所:オンライン(ZOOM 開催)

議長:阿部信太郎 書記:土居拓務 出席者:29 名

総会に先立ち:阿部理事を議長,土居理事を書記として総会を進行することに決定した。

《審議事項》

1. 2020 年度会務報告

久井田理事(事務局長)より 2020 年オンラインフォーラム以降の会務について報告がなされた。2021 年 3 月 20 日には延期されていた全国大会が行われたことを説明した。また、2021 年度の会務として 6 月に理事選挙があり、7 月 3 日に開票作業がされたことを併せて報告した。なお、橋本理事から 3 月 20 日に開催された全国大会については、「2021 年度」と誤記されているという指摘があり、その場で「2020 年度」に修正した。

2. 2020 年度決算報告

宮下理事(会計担当)から学会の予算状況について説明があった。また、宮下理事からは、現在、例年より予算に余裕はあるが、これはオンラインで全国大会を行ったためであり、会費収入によるものではなく、会計に余裕があるわけではないことが付言された。

久井田理事(事務局長)から、今年度は全国大会の延期による論文投稿期限の変更より、投稿料などの計上が翌年の 2021 年度に送られていることの説明があった。

会計監査は浅野理事および塩田理事から 9 月 15 日と 9 月 17 日に実施されている。なお、浅野理事は対面により、塩田理事は ZOOM により確認した。塩田理事から、決算報告は適切に処理されていることを確認したという報告がなされた。なお、本日の総会資料に印影がなかったため、後日、塩田理事から宮下理事に印影のある会計監査報告が送付されることで了承された。決算報告について参加者 29 名からの賛成により可決された。

4. 2021 年度予算

2021 年度の予算について宮下理事(会計担当)から次のように説明があった。最近はオンラインによる全国大会や春季研究集会が開催されない関係で繰越金は例年より多くなっている。しかし、これは一過性と思われるため、収入と支出は例年を踏襲する形で作成している。

また、選挙費は既に支出が終わり、予算で 4 万円を見込んでいるが、実際には 2 万で済んだことを併せて報告した。2021 年度予算について参加者 29 名からの賛成により可決された。

《報告事項》

1. 選挙結果報告について

6 月に投票、7 月 3 日に開票が行われた理事選挙の結果について、選挙管理委員長の水野勝之理事から報告がなされた。2021 年 4 月 1 日時点の会員数は 299 名、選挙者数は 253 名、被選挙者数は 250 名、総投票数は 420 であり、有効投票数が 390 であった。なお、資料に氏名掲載のある 20 名が当選し、5 名が辞退した。

2. 学会賞審査結果報告について

学会賞選考委員長の水野英雄理事から報告がありました。2019 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの業績が対象期間であり、研究部門、教育実践部門、奨励賞の各 2 件に応募があり、特別賞、功労賞には応募がなかった。審査の結果、教育実践部門において大阪教育大学経済教育研究会『経済教育実践論序説』(2020 年、大学教育出版)の受賞が決定した。その他の受賞はなし。その後、大阪教育大学経済教育研究会として裴理事から学会賞選考審査委員、大学教育出版、そして、著者の先生方へのお礼の言葉が述べられた。

3. 会員の異動について

宮下理事(会計担当)から、正会員は 6 名増え、特別会員は 3 名減少、学生会員は 1 名増え、全体として 4 名増え、会員数はプラスを維持できていると報告がなされた。

4. 2022 年度全国大会について

大坂理事(会長)より、2022 年度全国大会については明治大学の水野勝之理事に実行委員長をお願いし、快諾を頂いた旨の報告がなされた。その後、水野勝之理事から実行委員長就任の挨拶がなされ、その中で、近年、報告者数が減少しており、今後は増やしていきたいとする課題が述べられた。2022 年度全国大会について、高橋勝也理事から可能であればオンライン開催を併用して欲しいとの依頼があり、水野勝之理事は検討すると回答した。

5. 2022 年 3 月の春季研究集会について

久井田理事(事務局長)から、昨年、城西国際大学で研究集会が開催されなかったため阿部理事にお願いして、お引き受け頂いたことの報告がなされた。その後、阿部理事から開催方法に向けた情報提供がなされた。

6. その他

高橋勝也理事から学会のメルマガが届いていない会員が複数いるため対応を検討したいという問題提起があり、大坂理事(会長)から現在契約しているサーバの不具合の可能性があるため対応したいという回答がなされた。

久井田理事(事務局長)から学会誌編集員として、地祇の学会誌は40年記念号であり過去の学会長から寄稿を頂いていること、年内に届く予定であることの報告がなされた。

経済教育学会:新理事による理事会

日時:2021年10月31日(日)12時45分から13時25分

場所:ZOOM 2021年度経済教育学会全国大会がオンライン開催で学会の間の時間に実施

出席者 出席者17名 全理事数20名 欠席者3名

阿部信太郎, 飯嶋香織, 井草剛, 大坂洋, 久井田直之, 炭谷英一, 高橋勝也, 高橋桂子, 土居拓務, 徳丸夏歌, 中里弘穂, 橋本勝, 裴光雄, 松尾匡, 水野勝之, 宮下春樹, 八木紀一郎

議長 橋本勝 書記 飯嶋香織

1. 報告事項 1. 分科会午後について 2. その他

2. 審議事項

2.1. 会長の互選

大坂会長から慣例は大会の実行委員長が会長になっているが、1年半の任期となるが、継続の意思を示していただいた。議長からも大坂会長を会長に再任してはどうかとご提案もあり、新理事会で会長に選任された。

2.2. 研究部会の立ち上げと今後の運営

研究部会活動を活発化させるために研究部会の立ち上げについての提案があり、了承された。例)各部会の日韓連携部会 初等教育部会 中等教育部会、小中高教育経済推進部会など。研究部会の情報収集、運営ルール作りなどの責任者の理事を一人選ぶこととなり、高橋勝也理事が選出され、了承された。今後は研究部会の活動推進のために、補充理事を探す方向で 経済教育に取り組みを熱心されている小中高の現職先生にお声をかける方向で了承された。議論の経緯としては事務局から小中高大の先生が経済教育を研究する部会を立ち上げ、理事の中に小中高の先生に補充理事として加わっていただくのはどうかという提案があった。運営のルールを明確にする必要性はあるとの意見が大半を占め、まずは担当の理事を選出し、運営の準備を進めることが了承された。

2.3. 緊急の補充理事について

学会誌編集委員会担当理事が新理事で2名になるため、前年担当の中畠先生と越田先生に理事になっていただき学会誌編集委員になっていただくことが承認された。

会費納入のお願い

2021年度の年会費の納入をまだされていない方はなにとぞよろしくお願ひいたします。(12月に学会誌共に納付書郵送済)前年度(2020年度)以前の会費の納入がまだの方には複数年分の会費が振込用紙に記載されておりますので、ご注意お願ひいたします。また、特別会員制度により、65歳以上の方は年会費が2,500円となります。該当する方は学会事務局へのメール(jimukyoku@ecoedu.jp)もしくは、事務委託先 株式会社サトまで御連絡願ひます。下記の振込口座での振込みも可能です。

ゆうちょ銀行 口座番号:00920-3-252875

口座名義:経済教育学会

年会費:正会員5,000円、学生会員(大学院生を含む)2,000円、65歳以上の会員2,500円・経済教育学会は日本学術会議協会学術研究団体(詳細は<http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>)です。学会費は所属先の校費にてお支払頂ける場合があります。

以下引用の規約にもとづき、過去の会費の未納分がある方は早急に会費を納入願ひしております。「2年間にわたり会費を納めないものは、原則として会員の資格を失う。学会誌送付時で年会費未納の会員については、その旨を伝えて、本会の出版物の配布を保留し、会費納入後に送付することとする」(会則4より)(2016年3月春季理事会で改正)

2.4. 今後の理事会の開催

大坂会長より補充理事の承認など(前述2.3の補充理事は承認済み)で早い段階での理事会での開催がある可能性がある。場合によってはメール審議もありうる。

KEEAから2022共同学術大会日程お知らせ

2022経済学共同学術大会が非対面の開催に決定されました。

日時:2022年2月10日(木)

-1セッション 09:20~10:50 -2セッション 11:00~12:30

詳細なプログラムは決まり次第再度お知らせいたします。

経済教育学会 ニューズレター 第36号

2022年2月1日発行

発行人 経済教育学会会長 大坂洋

編集人 久井田直之

発行所 日本大学経済学部 久井田直之研究室

〒101-8360 東京都千代田区三崎町1-3-2

電子メール jimukyoku@ecoedu.jp ⇒ 新しく変わりました。

学会費送金先 ゆうちょ銀行

振替口座番号 00920-3-252875

印刷所 株式会社 エムディーエス 03-5829-